

議会 だより



令和7年7月28日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.243

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534



ほそく永く、絆を育む 神戸真陽との交流会は今年30年目



第2回定例会 2P
委員会 3~7P
ズバリ市政を問う（一般質問） 8~11P
議員紹介 12P
★議員の思い 特集ページ 特1P~4P

令和7年

第2回 定例会

6月5日
～
6月27日
開催

定例会のあらまし

第2回定例会開会日に、執行機関側から「飯田市基本計画の実施状況の概要について」など報告案件12件、「飯田市特別職の職員で非常勤の者の報酬に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件3件、「権利の放棄について（国民健康保険保険給付の返還金に関する債権）」など一般案件4件、「令和7年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案」ほか予算案件2件の議案の上程がありました。

中日には、「令和7年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案」の予算案件1件が上程され、開会日に上程された議案とともに所管の委員会に付託され、議案審査を行いました。

これらの議案は閉会日の本会議において、いずれも原案のとおり可決されました。

閉会日には委員会提出議案として「更なる少人数学級推進及び教員増のための教育予算確保並びに義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について」の1件の議会議案を提出し、原案のとおり可決されました。

議案に対する質疑と審査

報告案件以外の議案10件は、所管の委員会

に付託され、集中的に審査しました。

委員会での質疑等の内容は、3ページからの常任委員会のページでその一部を紹介します。

一般質問について

一般質問は6月12日、6月13日の2日にわたって行われ、新人議員7人を含む15人の議員が、執行機関に対して説明を求め、又は疑問に思っていることなどについて質しました。議員ごとの質問内容の一部を8ページから質問順に紹介します。

議員及び委員会提出議案について

【発委第5号】

更なる少人数学級推進及び教員増のための教育予算確保並びに義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について

この議案は、社会文教委員会が審査を行った令和7年請願第2号『さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保』・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書を提出願いたい』が採択となったことから、社会文教委員会の発議により、国会及び関係行政庁に対する意見書の提出について委員会案が提出され、全会一致で可決しました。

可決した意見書

請願第2号に関連

更なる少人数学級推進及び教員増のための教育予算確保並びに義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

【提出先】 衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、
財務大臣、文部科学大臣

定例会の審議結果や本会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会（中継）」でご覧いただけます。

飯田市議会ホームページアドレス
<https://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>



HP QRコード



開会日QRコード



閉会日QRコード

総務委員会

6月18日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

《予算決算委員会 総務分科会》
議案第73号 令和7年度飯田市一般会計補正
予算（第1号）案のうち分担分

大学とのネットワーク事業について

Q 国の委託金を活用した事業となるが、
事業の具体的な目的は。

A 国は「進学を契機として東京圏に若者の
転出超過が続いている中、大学生などの
若者の力を生かした魅力的な地域づくりや未
来の地域づくり人材の育成、その人材の環流
の取り組みを加速
化させ地域の担い
手の確保や将来的
な地域おこし協力
隊等への参画を推
進していく」こと
を掲げており、い
わゆる移住定住・
交流人口の創出を
目的に、地方創生
の施策として行う
もの。



Q 本事業と学輪IIDAの取り組みは、
何が違うのか。

A 学輪IIDAの
フィールドスタ
ディでは、大学の先
生や学生が一定の期
間、この地域を大学
の研究材料にした
り、卒論等の材料と
して学び、まとめて
いる。先生方は毎年
来られて継続的に関
わられているが、学
生はそれぞれの年での活動が主であり、単発
的な関わりとなっている面もある。



今回の委託金の取り組みは、明確に移住や
関係人口を増やすために、地域と大学生の将
来的な関わりをつくることを目的にしてお
り、継続的に行うことで、地域の課題解決に
繋げていく取り組みとなる。

Q 学輪IIDAでは遠山郷に加え、中心市街
地、千代地区などでフィールドスタディを開催
しているが、その中で遠山郷を選んだ理由は。

A それぞれの地区に課題はあるが、特に遠
山郷では保育園児や小・中学校の児童生
徒数の減少、耕作放棄地の増加、獣害被害な
ど、将来に向けた課題が多い。一方で、どん
ぐり隊や地域おこし協力隊など、大学と協働
してくれる人材や団体が豊富にあり、実施地
域として最適と判断したため。

総務委員会が所管する事務事業の管内視察を実施しました

■実施期日 令和7年5月20日(火)

◆視察先◆

- ①脱炭素先行地域づくり事業
「飯田マイクログリッド」 (川路)
- ②移住定住推進事業「燕と土と」 (龍江)
- ③グリーンバレー千代
- ④防災倉庫 (千栄)
- ⑤飯田市消防団第5分団
八幡班消防団詰所移転改築工事 (松尾)
- ⑥信州大学の実証タウン構想と
飯田市の取り組み (エス・バード)



②燕と土と

①飯田マイクログリッド



社会文教委員会

6月5・19日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に社会文教委員会へ付託となった議案2件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。議案審査の中での主な質疑の内容を紹介いたします。

議案第69号 権利の放棄について（国民健康保険保険給付の返還金に係る債権）

【内容】国民健康保険の保険給付に係る返還請求の手續に漏れがあったことに關し、被保険者が不利益を被ることがないよう市の権利を放棄しようとするもの。

Q 今回の議案は、市としてできる限りの対応を行ったうえで、債権放棄を行うという理解でよいのか。

A 事案発生を確認した後は、できる限りの対応は行ったが、市が債権放棄を行わないと、当事者である市民の方が不利益を被る（こうむる）ことになるため今回提案した。

《予算決算委員会 社会文教分科会》

予算案件のうち、分担となった議案は3件です。主な質疑の内容をご紹介します。

議案第73号 令和7年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案のうち分担分

高齢者予防接種事業費について

Q コロナ予防接種委託料の積算根拠はどのようなものか。今年度は全額一般財源ということだが昨年度と今年度の自己負担額の違いは。

A 昨年度の実績をもとに算出した。昨年度は国からの助成金があったため、その8,300円をまず予防接種料に充て、残り7,000円のうち4,000円を市が補助し、3,000円を自己負担してもらった。今年度は国からの助成金がないため、接種料の半分程度を市が補助し、8,000円を自己負担していただく。

議案第74号 令和7年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案

手術支援ロボットの導入について

Q 手術支援ロボットの導入により、今まで市立病院で行えなかった手術に対応できるようになっていくということだが、操作する人材はどうするのか。

A 今回の導入では、現在市立病院に勤めている医師で手術対応できる。

Q 現在市立病院の経営が非常に大変な状況のなか、今回手術支援ロボットの導入にあたり院内でどのような議論がされたのか。また費用対効果をどのように考えているか。

A 当院はこの地域の医療圏の急性期を担う中核病院であり、がん診療の連携拠点病院でもある。このことから病院内では、導入について検討を進めてきたが、今年に入り院内で合意が取れた。高額な機器であり、全てを回収できるかというのは、症例数などにもよるため、なかなか難しいところである。

請願1件を採択しました

〔令和7年請願第2号〕

国に対し、「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書を提出願いたい。

（請願者）

飯田市内 長野県飯田市学校教職員組合
代表 北沢 彰太郎 氏

5月21日(水)に管内視察を実施しました

◆視察先◆

- ①飯田ルーテル幼稚園 ②アップル工房イイダ
- ③史跡恒川官衙遺跡整備
- ④上郷小学校長寿命化工事、児童クラブ複合化
- ⑤市立病院長との懇談及び施設見学
- ⑥感環自然村 ⑦かざこし子どもの森公園



④上郷小学校

産業建設委員会

6月20日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に産業建設委員会へ付託となった「市道路線（上久堅216号線）の認定について（議案第70号）」、「市道路線（飯田72号線）の変更について（議案第71号）」、及び「工事請負契約の一部変更について（道路メンテナンス事業橋梁（りょう）長寿命化修繕工事）（議案第72号）」の議案3件について、慎重に審査を行った結果、原案のとおり可決することに決定しました。

ここでは、予算決算委員会産業建設分科会分担分の議案審査の中での、主な質疑の内容をご紹介します。

《予算決算委員会 産業建設分科会》
議案第73号 令和7年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案のうち分担分

道の駅遠山郷施設管理について

Q 道の駅遠山郷では、9月にプレオープンし、10日ほど営業するとの説明だが、営業日は具体的に決まっているか。

A 平日含む土日・祝日を予定しており、指定管理者と調整中である。

Q 従業員は、地元から採用するか。

A 指定管理者からは、地域振興の点からも地元採用で決定していると聞いている。

外観イメージ図



Q 三遠南信自動車道の開通が見通せない中、冬季間は客足が鈍ることが想定される。指定管理料の積算をどのように考えたか。

A 過去の実績を参考にしながら、市が直営で管理運営した場合の積算を行い指定管理料の上限額を設定した。令和7年度は下半期のみの運営となるため、燃料費や光熱水費は、物価高騰などの社会情勢や上半期と下半期の使用量の比較などを加味して積算した。

また人件費は、7、8月の準備期間と、市として要請した9月のプレオープンに係る準備期間を含めて積算した。

Q 施設の再開を待ち望む声があるが、広報をどのように進めるか。

A 当該施設設置前から、隣接する旧水窪町をはじめ浜松方面との交流があることから、既に今秋グランドオープンすることを周知している。この他に、広報いだをはじめ新



物販施設イメージ図

聞広告やテレビ等を通じた情報発信に注力する。

Q 実現可能な想定に来客者数を基に経費を積算したことに關して、開業後の経営状況を当委員会へ報告することは可能か。

A 指定管理料は、的確に積算したものであるが、開業後の運営状況について報告する。



中庭イメージ図

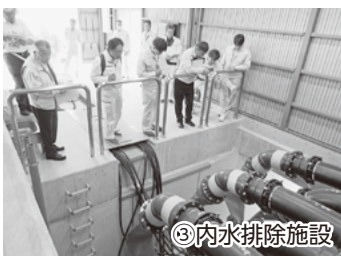
5月26日(月)に管内視察を実施しました

◆視察先◆

- ①飯田市道の駅遠山郷の再整備・中橋災害復旧事業
- ②南信濃八日市場橋（災害復旧事業）
- ③金色洞川・祝井沢川（内水排除整備事業）
- ④松尾浄化管理センター
- ⑤入野中継ポンプ場建設地
- ⑥飯田山本インター産業団地（仮称）



①道の駅遠山郷



③内水排除施設

予算決算委員会

予算決算委員会
及び分科会における
予算議案の審査の
様子は、YouTubeで
動画配信しています。



本定例会では、令和7年度飯田市一般会計補正予算（案）をはじめとした予算議案3件が予算決算委員会に付託された後、予算決算委員会前期全体会で総務・社会文教・産業建設の各分科会へ分担し、6月18日から20日にかけて審査を行いました。

6月26日に開催した予算決算委員会後期全体会において、各分科会の審査について、座長報告を受け、議案審査を行い、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。

また、令和7年度「議会による行政評価」を予算決算委員会の所管事務調査として実施することを確認しました。

分科会の審査の様子は、総務委員会から産業建設委員会のページをご覧ください。

議会による行政評価について

「議会による行政評価」は、議決した基本構想基本計画「いいだ未来デザイン2028」の進化管理に関与し、議会としての責任を果たす目的で行っています。予算決算委員会の所管事務調査として、基本目標ごとに評価・検証を行います。

令和7年度 議会報告・意見交換会を開催します

議会報告・意見交換会は、飯田市自治基本条例に規定されている「開かれた議会運営」、また、「議会への市民参加の推進」を果たすための取組と位置付け、市民の皆さんの声を政策づくりに反映していくことを目的とします。今年度も、各地区まちづくり委員会との共催により開催します。



昨年度の全体会の様子

また、「議会による行政評価」を「いいだ未来デザイン2028」の基本目標と連動し、4年間の政策サイクルで捉え、①初年度審査、②中間期審査（2・3年目）、③最終年審査の3段階に分けて審査を行っています。昨年度は、中期計画（令和3～6年度）4年間の最終年であったことから3年間を評価しました。本年度は、令和6年度を加えた4年間の評価を執行機関側から説明を受け、改めて検証し評価します。検証にあたっては、昨年度の評価以降の社会の環境変化などを踏まえ、新たな視点があれば後期計画期間の取組に対する提言として取りまとめます。

日程

ステップ1	執行機関からの説明	7月22日(火)、23日(水)
ステップ2	戦略計画に対する個々の議員による評価	7月29日(火) 提出期限
ステップ3	分科会による意見集約	8月5日(火)、6日(水)
ステップ4	分科会での検討経過確認	別途調整
ステップ5	評価提言内容の取りまとめと執行機関との意見交換	9月16日(火)～24日(水)
ステップ6	提言内容の調整と全体会での確認	9月25日(木)、26日(金)
ステップ7	提言	9月29日(月)
ステップ8	ステップ8までの振り返り	別途調整
ステップ9	当初予算案の審査	令和8年第1回定例会
ステップ10	行政評価全体の振り返り	別途調整

ブロック	地 区	期 日	会 場
竜 東	下久堅・上久堅・千代・龍江	10/3(金)	下久堅公民館
飯 田 5地区	橋北・橋南・羽場・丸山・東野	10/7(火)	飯 田 市役所
西 部	山本・伊賀良	10/8(水)	伊賀良公民館
北 部	座光寺・上郷	10/9(木)	座光寺公民館
南 部	竜丘・川路・三穂	10/10(金)	竜 丘 公民館
遠 山	上村・南信濃	10/14(火)	南信濃 地域交流 センター
中 部	松尾	10/15(水)	松 尾 公民館
	鼎		鼎 公民館

リニア推進 特別委員会

6月23日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

土曽川橋りようへの

要対策土の活用について

JR東海が4月に開催した「リニア中央新幹線 長野県駅（仮称）新設に係る説明会」の内容について、長野県駅（仮称）工区の工事進捗状況と、土曽川橋りようへの要対策土の活用について説明がありました。

また、土曽川橋りようへの要対策土活用に関するJR東海と市との確認書の内容についても説明がありました。

Q 地下水の水質調査地点について、なるべく橋きやくの一番近くで行う必要があると思うが、この場所で問題はないか。

A JR東海の説明では、水質調査は、土曽川の左右岸で橋きやくを上下で挟んだ場所で行う必要がある、事前の調査で、地下水の流れを確認したうえで地点を設定している。

リニア駅前広場活用にに向けた

検討の進め方について

リニア駅前広場整備の検討は、3つのプロ

ジェクトによる個別の検討と、各プロジェクトの進捗状況や課題を共有し、全体で協議するプロジェクト連携会議で進めているとの報告がありました。

Q リニア駅前広場、駐車場の具体的な整備と着手の時期は。

A リニア本線工事の影響のない区域は、第一期工事として今年度から水路の設置や土地の造成工事に着手し、整備の完了したところは広場、駐車場として令和10年度から活用していく方針である。（下図参照）

Q トイレについては、駅舎内の施設を利用すると説明を受けていたが、駅舎がない間、トイレの設置をどう考えているか。

A トイレの設置は一部供用に際して、必要なことと考えており、設置場所等の検討をしていきたい。

Q リニア駅前広場プラットフォームは、一部供用開始に向けて進めていくのか。リニア開業と切り離して進めた方がよいのでは。

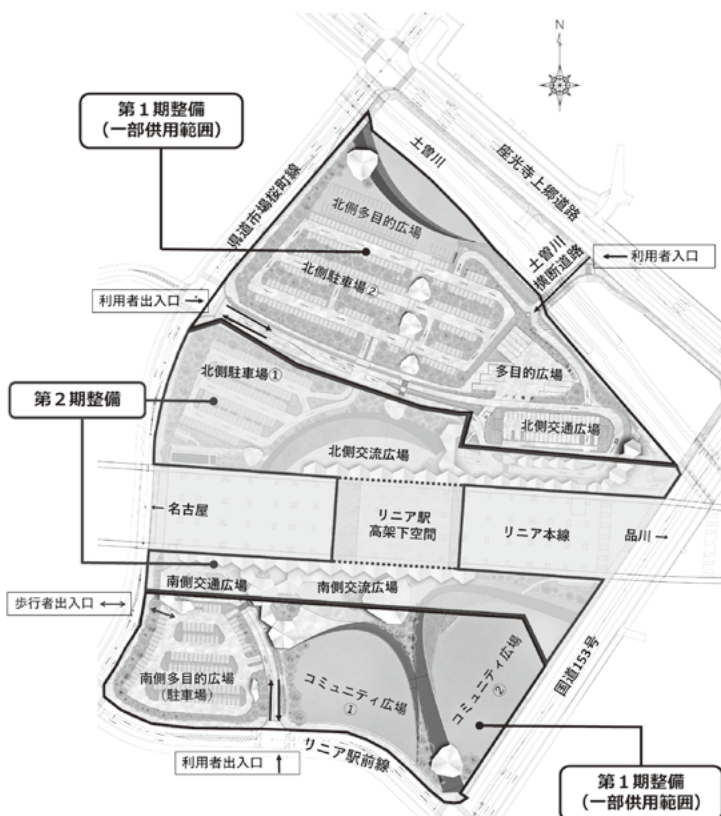
A プラットフォームは、まずは令和10年度の一部供用開始に向けて運営事

業体の形成、活用方法の具体化を進めていく。開業までの期間を、社会実験的に活用しながら進めていきたい。

機運醸成を図っていくことも大事な視点だと考えているため、引き続き一部供用に向けて公民協働を進めたい。

Q 一部供用では、周辺で工事が行われている状況であるが、騒音などの支障は。

A 工事用フェンスの設置など広場の安全確保も含めて対策を講じながら、一部供用をしてまいりたい。



リニア駅前広場整備予定図

小中学校の給食の状況は

森 本 紘 司 議員 (新政いいだ)



Q 米の高騰や物価高騰による学校給食の献立への影響は出ていないか。

A 国が定めた学校給食実施基準で、年齢に応じた栄養成分の摂取量が定められており、これを満たす必要があることから、物価高騰分を見越して補助金を増額し、量や品数が減らないよう給食を提供している。保護者が負担する学校給食費と市の補助金の中で、安全安心でおいしい給食が提供できるよう、栄養士が日々工夫をしている。

■部活動の地域移行の進捗状況は

ズバリ！ 市政を問う

第2回定例会の一般質問の概要を紹介します。
(15名・質問順) ■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています



リニア新時代における これからのまちづくりの方向は

長 谷 部 春 生 議員 (会派きぼう)



Q 多極分散型社会の実現に向けて、環境文化都市として「環境省」の誘致へ積極的に取り組む考えは。

A 市ではこれまでも多極分散型社会の実現に向けて、産業技術総合研究所の誘致を提案した経緯がある。また、長野県が国に提案した「多極分散型国土形成に対するビジョン案」の中では、産総研、森林総研、JAXAなどの伊那谷への機能移転が例示されている。地域の強みを生かした機能移転という意味では、環境省もその候補になり得ると考える。

要対策土を活用した リニア駅工事について

古 川 仁 議員 (日本共産党)



Q 今後、市独自に有識者・専門家・公募委員等、幅広い方を含めた対策委員会を設置しては。

A 土曾川橋りょうへの要対策土の活用について、要対策土投入後の水質検査等の数値のチェック、JR東海の取組状況の確認を行う組織の必要性は感じている。市の環境審議会等を参考にしながら、市民の代表者や有識者を含めたメンバーの構成等を検討し、年内の設置を目標に進めていく。

■安心・安全なまちづくりについて

子宮頸がん予防と支援について

岡 村 弘 子 議員 (公明党)



Q 子宮頸がんに対する飯田市のがん教育の必要性の認識と撲滅への今後の対策は。

A 現在のがん教育は、特定のがんに絞って学習する機会とはなっていない。こどもたちが子宮頸がんに対する正しい情報と知識を得ることは大切なことであり、保健体育の授業等の中で正しい理解ができるよう努める。また、ワクチン接種の対象者や保護者に対し、ワクチンの重要性や効果の正確な情報を伝えることで、接種率向上に引き続き取り組む。

飯田市の観光について

小 平 彰 議員 (新政いいだ)



Q 飯田動物園から桜並木までの道を「田中芳男通り」と名付けては。

A 中心市街地の観光資源を点から線につなげていくことは、非常に重要と考える。田中芳男氏は全国的にも知名度の高い歴史的偉人であることから、地域の歴史の偉人と観光資源を結び付けた観光施策を進めることにより、観光客だけでなく、市民にも広く知らしめていきたい。

■観光客誘致に係る調査分析は
■災害に備えた体制について

空き家等対策計画の 空き家化予防と利活用は

岡 本 恒 和 議員 (新政いいだ)



A 現在、空き家に関する啓発記事を毎月の広報いいだに掲載するほか、地区からの依頼により出前講座などを実施している。また、市内高校における地域人教育での出前講座や、空き家対策の啓発チラシを作成・配布する地区への補助制度等も設けている。議員提案の広報いいだでの空き家特集は、有効な広報手段の一つとして、今後検討したい。

Q 「空き家化」予防の観点から広報を強化する必要性があると考えerがどうか。

共生社会の構築に向けて

宮 脇 邦 彦 議員 (公明党)



A ユマニチュードは、認知症の方とのコミュニケーションを図るケア技法として有効だと理解する。市が行う認知症支え合い講座で示している注意点もユマニチュードの4つの柱と大きな違いはないと認識しているが、今後研究を進めたい。誰もが認知症になり得ることを前提に、一人一人が認知症を自分事として捉えることが重要と考える。

Q 認知症の人に寄り添った地域社会へ、ケア技法の「ユマニチュード」を活用しては。

農業従事者の減少について

正 木 利 幸 議員 (新政いいだ)



A 初期投資等に係る資金不足、収益の不安定さ、生産における技術不足、経営スキル不足、若年就農者間の情報交換の機会が少ないこと等が考えられる。インターン就農者では住居、耕作地、農業用機械、施設等の確保も課題。県、農業団体等と連携し、若年就農者の相談を受ける機会をこちらから作り、補助制度の紹介、農業技術支援などを行うとともに、新規就農者同士がつながる場も提供していきたい。

Q 若者が新規に農業を始める場合の障害は。

災害時の対応等について

片 町 元 彦 議員 (会派きぼう)



A 行方不明者の捜索をはじめ、孤立地域への物資輸送等にドローンの活用は有効と認識している。飛行ルートの設定に関しては、災害時には離発着場所の変化も予想されるため、事業者の協力を得て、今後研究を進める。議員から提案のあった地域との共同訓練については、事業者等との訓練を進めながら今後の見通しを立てていく。

■ 安心安全な水の提供について

Q 災害時、安否確認や輸送手段として「ドローン」の実用性、導入について、市はどう考えているか。

地域通貨の可能性を探る 試行中の実証実験について

関 島 百 合 議員 (会派きぼう)



A アンケートやヒアリングの結果から一定の評価はいただいているが、期待している結果にはまだ至っていない。地域内経済の循環につながるには、規模感と利用実績が足りないと感じている。更なる加盟店舗の増加と利用しやすい環境づくりに加え、広報の強化を行い、試行が終わる年末までにしっかりと見極めていきたい。

Q 地域内経済の循環に「ふくまるくんカード」を使った取組をどうつないでいくのか。

「環境文化都市」の実現に向けて

福 澤 克 憲 議員 (会派きぼう)



A 現在、市ウェブサイトにて、市民へゼロカーボンの取組状況を視覚的に伝えるスペシャルサイトを構築中である。分別したごみはどう社会に戻ってくるのかを知ること意識の醸成につながる。身近な取組の積み重ねが環境への取組につながっており、このことを市民に誇りと感じてもらうよう「環境文化都市」の実現に向けて取り組んでいく。

Q ゼロカーボンシティ推進のための情報発信、「環境文化都市」実現に向けての市民意識醸成の考え方は。

外国人と思われる者等の 森林所有者の把握について

松岡 秀治 議員（会派きぼう）



A 外国人であるか否かを問わず、森林所有者の情報について市では把握していない。必要に応じて、法務局で調査を行い把握している。当市の森林所有者の多くは財産区、市、県、国であり、個人所有林は森林面積の20%強である。また、個人所有林の面積が1ha未満の個人が約70%で、開発等の動きは把握しやすい状況にあり、懸念すべき事項は少ないと考えられる。

Q 近年外国の資本による水源林等の用地買収問題が明らかになっているが、市はどう把握しているか。

継続的にスポーツや運動に 取り組める環境について

市瀬 芳明 議員（日本共産党）



A 「飯田市障がいのある方の実態調査」にてニーズを把握している。令和5年度の一年間にスポーツをした人の割合は9・8%で、一般の方より低い傾向。「障がい福祉に関する市民アンケート」では21・6%の方がスポーツ、文化、レクリエーション活動への支援を求めている。飯伊地区スポーツ交流会などに参加いただいている。

Q 障がい者のスポーツ参加は様々な支援が必要。当事者等の実施状況やニーズをどのように把握しているか。

昨今の米不足、価格高騰と 食料安全保障について

野崎 直仁 議員（無会派）



A 専業農家はもちろんのこと、自給的農家を含めた兼業農家・小規模農家に稲作を続けていただくことが、景観保全や水田の多面的機能の維持という観点からも重要と考える。市はこれまでも兼業農家・小規模農家に対し、農機具の更新の際の補助等の支援を行ってきたが、今後も農業者や関係機関の意見を取り入れながら、引き続き兼業農家・小規模農家への支援策を講じていきたい。

Q 市民の安定的な米の確保に関して市は何ができるかと考えているか。

高齢者が生きがいを感じ 自分らしい生活を送るために

小林 真一 議員（公明党）



A 現行の制度では電磁波防護エプロンに対する助成事業はない。この支援は、高齢者に限らず、ペースメーカーを装着する全ての方に关するものと考えている。安心した日常生活には、まずは助成支援ではなく、ペースメーカーを装着されている患者さんが安全に配慮した生活を送れるよう、医師の指導に従い定期的な検診を受けていただくことが重要と考えている。

Q ペースメーカーを装着する市民へHクッキングヒーター等に対応する防護エプロン購入支援の考えは。

市議会の傍聴に関して

* 毎回多くの市民の皆さまに市議会を傍聴いただき、ありがとうございます。

団体での傍聴を希望される際には、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

* 傍聴は、本会議（開会、代表質問、一般質問、閉会）だけでなく、各常任委員会（総務、社会文教、産業建設、予算決算）及びリニア推進特別委員会も可能です。

* 一般質問をはじめとした本会議や委員会は、動画配信サイトYouTubeでライブ配信する

とともに、アップロードもしております。ぜひ、ご視聴ください。



本会議場 議長席から見た傍聴席の様子

新議員説明会(研修)の開催

4月の改選で新たに議員となった10人を対象に、これからの議員活動に必要な内容について、執行機関の協力も得て「新議員説明会(研修)」を実施しています。

この研修には、2期以上の議員も希望により参加し、改めて内容を確認しています。今後も議員の資質、力量の向上のため研修会を開催します。

【これまでの研修内容】

4月24日 議会の一般的事項について
5月1日 タブレットの操作方法、

飯田市の財政、

いいだ未来デザイン2028、
法令・例規の読み方等について

5月19日

一般質問の要諦について

5月23日

リニア事業の概要について

6月24日

議会による行政評価について

7月18日

議会改革の取組について



議長記者会見

議長記者会見は、6月30日に行われ、竹村議長と清水優一郎副議長から第2回定例会の振り返り、今後の取組、今号の議会だよりの発行についての発表がありました。



定例会の振り返りでは、議長はすべての委員及び分科会の審査を傍聴したことから、新議員の定例会の様子を述べました。

今後の取組については、5月12日の全員協議会における議長立候補所信表明演説から、83年ぶりの無投票となった市議会議員選挙を受けて、議会、議員のあり方の検討を進めていくことについて発表がありました。

議会だよりについては、市議会議員選挙が無投票となったため、市民が候補者の思いを聞く機会がなく、当選した議員が何をしたいのかわからないという声を聞いたことから、少しでも議員の思いを伝えていきたいと、議会だより243号に23人の議員の思いのページを挟み込むことについて発表がありました。

「出前講座」をご利用ください!

飯田市議会では、議会に対する理解や関心を深めていただくことを目的とした「出前講座」を実施しています。

出前講座は、主に次の内容についてお話しさせていただきます。学校や団体、グループの学習の場としてご利用ください。

◆出前講座の内容

- ①議会の仕組み及び役割
- ②国の政治と地方政治の違い
- ③議会と市長の関係
- ④議会改革の取組
- ⑤その他、議会に関すること

◆出前講座可能な日時等

月曜日から金曜日の午前10時から午後9時までの間

(但し、飯田市の休日は除く)

◆ご利用方法

出前講座を希望する2か月前までに所定の申込書を、飯田市議会事務局宛にお出しく下さい。

申込書は飯田市議会ホームページからダウンロードするか、議会事務局へお申し出ください。

ご不明な点は、

飯田市議会事務局 ☎22-4523 に
お問い合わせください。

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～探究っておもしろい!～

おお たいら うん りゅう
大 平 雲 龍

「なんで?」「どうして?」って思う気持ち、みなさん大事にしていますか?実はこの“探究心”こそが、毎日の暮らしや地域をちょっとずつ良くしていく原動力なんです。

例えば、飯田のまちの課題も、「なんでこうなってるんだろう?」と一歩踏み込んで調べてみると、意外な理由やヒントが見えてきたりします。

私自身、議員として日々探求を続ける中で、「なるほど!」「もっと知りたい!」の連続です。答えをすぐ出すより、問い続けることの方がずっと面白い。そんな探究の面白さ、ぜひみなさんにも体験してほしいなって思っています!地域の課題や未来について、一緒に「なぜ?」から始めて、探究してみませんか?



～自分の魂に正直に～

みづき れい
水 月 レイ

子どものころから、ネコが友達、戦隊ものやプロレス大好き、漫画はスラムダンク、音楽は浜田省吾のバリバリロックンロールと変わっていました(笑)。

高校卒業してからもどこか生きづらく、ずっと生きている意味はなんなのかもがいていました。

ここ数年でようやく自分の特性に気づき、ありのままを受け入れることで楽になりました。

人は皆幸せになるために生まれてきた。だから人生何歳からでもやり直せるし楽しめる。大人がわくわく楽しんで元気であること、その姿を見て子ども達ももっと楽しんでいいんだと気づく。根本に愛を持ち全力で楽しめば、この世界はどんどん軽く明るくなっていく。まずは自分が何をしたいのか、自分の幸せと向き合ってみませんか。

議会の動き(予定)

■第3回定例会 傍聴にお越しください。
 9月2日(火)～9月29日(月)

◇一般質問

9月9日(火)、10日(水)

◇委員会日程 (傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会	9月11日(木)
総務委員会	9月16日(火)、17日(水)
社会文教委員会	9月17日(水)、18日(木)
産業建設委員会	9月18日(木)、19日(金)
リニア推進特別委員会	9月22日(月)
予算決算委員会後期全体会	9月26日(金)

■議会への請願・陳情は、議会事務局へ
 8月19日(火)午後5時までにご提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、コート、マフラーの着用、傘の類の携帯はご遠慮ください。(病気その他の理由により会議への出席に必要と認められる物であって議長にあらかじめ届け出たものは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。)

広報広聴委員会

委員長/関 島 百 合 副委員長/長谷部 春 生
 委員/水月 レイ 森本 紘司 岡本 恒和 岡村 弘子
 野崎 直仁 松岡 秀治 市瀬 芳明

表紙
 紹介

がんばつとるに!! 三穂

三穂地区は飯田市の中西部に位置する農村地帯で、伊豆木・立石・下瀬の三つの地区で構成されています。田園風景が形作る豊かな自然景観と、長い歴史が紡ぎ出した文化は他の地域にはないものばかりです。

昨年10月26日に旧小笠原家書院築400周年記念式典が行われ、ご当主(15代)から400年もの歴史の中で未だ書院が存在する奇跡は素晴らしいとの言葉がありましたが、これまでの地区一丸となって保存をしてきた賜物と思います。

表紙上段の写真の女性は、小笠原資料館を設計した世界的建築家の妹島(せじま)和世さんです。

また、5月17日には、阪神淡路大震災の翌年1996年から始まった神戸市真陽地区との交流を行い、この交流は今年で30年目を数えました。

淵源は震災直後に復興支援に駆け付けた、当時の三穂公民館主事やほかの方が真陽地区の皆さんと結んだ心温まるふれあいからでしたが、この心温まる交流は、双方の次代を担う子供たちにも広がって現在に至っています。

これからも「ふるさと三穂」への思いを大事に、ほそく永く絆を育んでいきます。